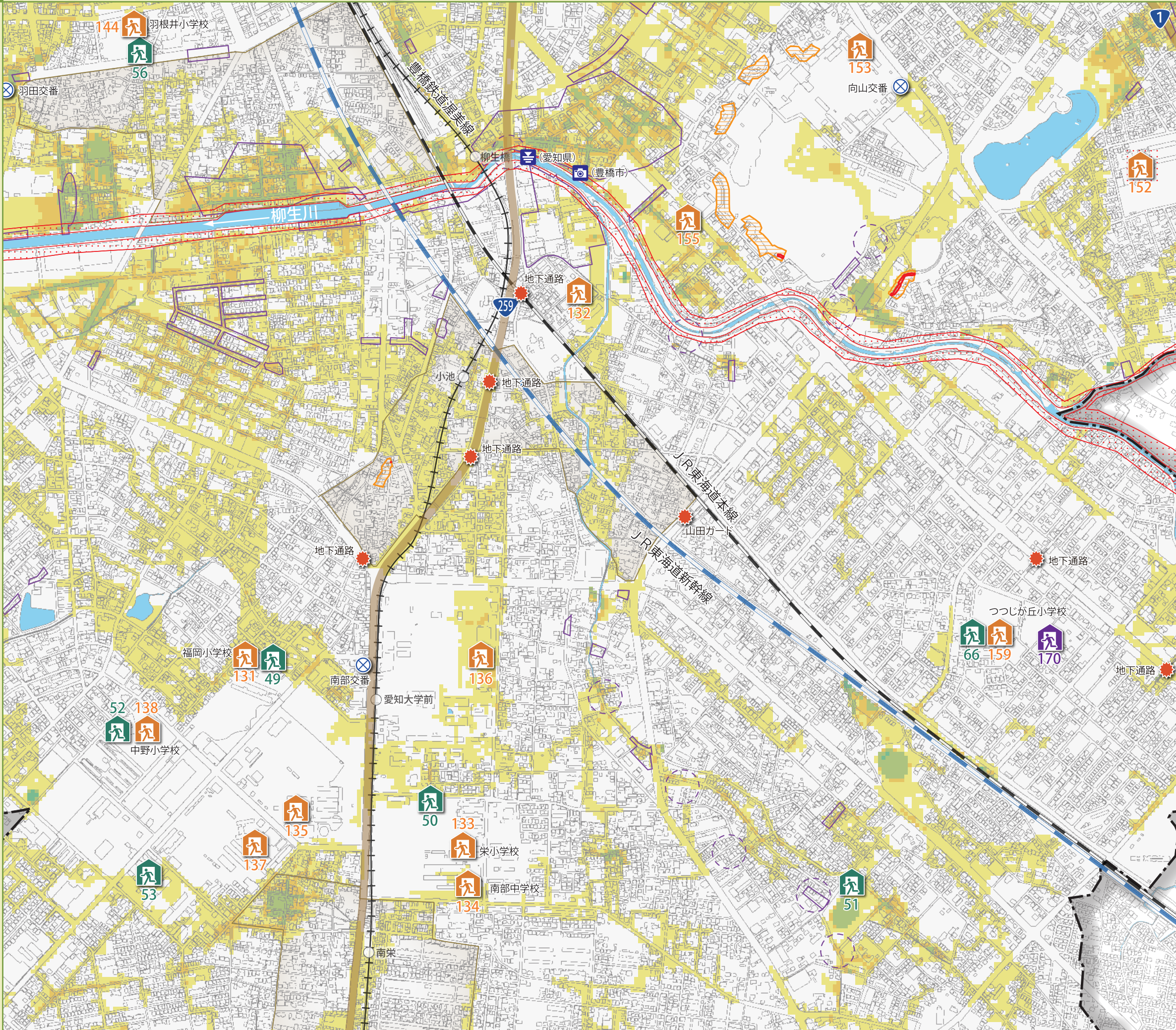


内水ハザードマップ Map-9



0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000m S=1/10,000



この地図は、広域連合長の承認を得て、同連合発行の都市計画基本図を使用して作成したものである。(承認番号) 6 東三都(測 第2・3号

避難所一覧

番号	施設名	番号	施設名
49	福岡校区市民館(一)	135	時習館高等学校(二)
50	栄校区市民館(一)	136	愛知大学(二)
51	南部生涯学習センター(一)	137	豊橋工科高等学校(二)
52	中野校区市民館(一)	138	中野小学校(二)
53	南陽生涯学習センター(一)	144	羽根井小学校(二)
56	羽根井生涯学習センター(一)	152	豊橋東高等学校(二)
66	つつじが丘校区市民館(一)	153	豊橋商業高等学校(二)
131	福岡小学校(二)	155	前田南地区体育館(二) 注
132	豊橋中央高等学校(二) 注	159	つつじが丘小学校(二)
133	栄小学校(二)	170	つつじが丘地域福祉センター(福)
134	南部中学校(二)		

(一)：第一指定避難所 (二)：第二指定避難所
(福)：指定福祉避難所 (洪)：洪水避難ビル

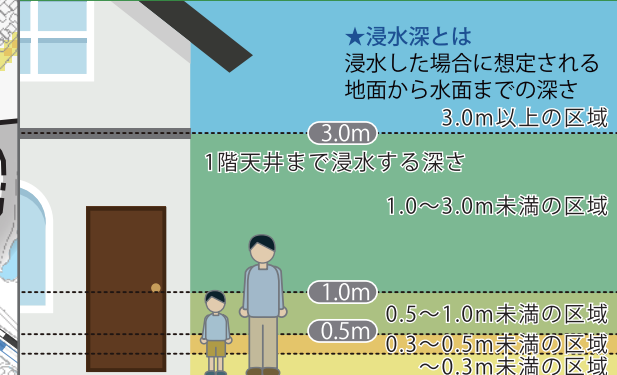
注：洪水時に浸水が発生する可能性があり ※：下水道区域外
《番号は地域防災計画 令和6年2月版(資料編：V 防災上必要な施設・設備等)の各避難所番号と同じです。》

凡 例

- 本マップ対象範囲
- 浸水実績
※近年における主要な浸水実績(H20.8.28、H26.10.6)の範囲を示す。なお、点線で示した箇所は、正確な範囲が不明な浸水箇所を示す。
- 第一指定避難所(生涯学習センター・校区市民館等)
・災害により被害を受け自分の家などを失い居住できなくなったとき、又は被害のおそれのある場合に避難する場所
- 第二指定避難所(学校などの公共施設等)
・第一指定避難所が収容能力を超えた場合などに開設
- 指定福祉避難所
・指定避難所での避難生活が困難な被災者がいる場合に開設
- 土砂災害警戒区域(急傾斜)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 ※
(早期立退き避難が必要な区域：河岸侵食)
※詳しくはこの内水ハザードマップの最終ページ「水害情報の入手先」の河川課ホームページ内の洪水ハザードマップを参照してください
- 家屋密集地域(火災注意箇所)
- 地下施設・アンダーパス
- 警察署・交番
- 水位観測所
- 河川ライブカメラ

注) 雨量、水位、河川ライブカメラについては、この内水ハザードマップの最終ページ「水害情報の入手先」から確認できます。

浸水深の目安



注) 豊橋市では、放流先河川の能力に応じて、おおむね1時間雨量47.4mmの雨に対応できるように市街地の下水道の整備を順次進めています。
ただし、この内水ハザードマップでは、中部地方において「想定し得る最大規模の降雨」である時間最大147mmの雨(年超過確率1/1,000程度の雨)が降った時に生じる最大の浸水深を示しています。
また、表示されている浸水深は、周辺の道路地盤の平均値を基準としており、局地的な窪地の状況や宅地が盛土されている状況などは反映していません。